

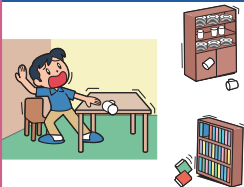
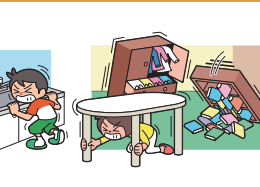



地震の感じ方と直後の行動

大きな地震が発生した際、瞬時に冷静な行動をとるのは大変です。しかし、その一瞬の判断が生死を分けることもあります。あわてず冷静な行動がとれるよう、地震時の行動パターンを身につけておきましょう。

地震の被害 (下記の各震度の色は、5ページの震度分布図に合わせております。)

| 震度0 | 震度1 | 震度2 | 震度3 | 震度4 |
|--|--|--|---|--|
|  |  |  |  |  |
| 人は揺れを感じない。 | 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。 | 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 | 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。 | ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。 |
| 震度5弱 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度7 |
|  |  |  |  |  |
| 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまると感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。 | 物につかまらなると歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。固定していない家具が倒れることがある。 | 立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 | はわないと動くことができない。飛ばされることもある。耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 | 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。 |

出典：気象庁 HP「震度と揺れ等の状況(概要)」一部改編

地震発生直後の行動

